

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2017-37014(P2017-37014A)

【公開日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-007

【出願番号】特願2015-158726(P2015-158726)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/483	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/54	(2006.01)
C 1 2 Q	1/00	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 1 2 N	9/04	(2006.01)
C 1 2 N	9/16	(2006.01)
C 1 2 N	9/88	(2006.01)
C 1 2 N	11/14	(2006.01)
G 0 1 N	27/327	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/483	Z N A F
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 Q	1/54	
C 1 2 Q	1/00	C
C 0 7 K	7/06	
C 1 2 N	9/04	D
C 1 2 N	9/16	
C 1 2 N	9/88	
C 1 2 N	11/14	
G 0 1 N	27/30	3 5 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月3日(2018.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の(a)又は(b)のアミノ酸配列を有するペプチドからなり、かつ金属への結合能を有する、結合剤：

(a)以下の(1)～(17)の何れかに記載のアミノ酸配列；
 (1)K、K、R、E、V及びRからなるアミノ酸配列、
 (2)V、Y、N、K、R及びKからなるアミノ酸配列、
 (3)S、R、A、A、K及びYからなるアミノ酸配列、
 (4)Q、K、R、K、V及びVからなるアミノ酸配列、
 (5)K、G、R、G、R及びVからなるアミノ酸配列、
 (6)K、R、K、A、A及びMからなるアミノ酸配列、
 (7)K、T、R、G、V及びKからなるアミノ酸配列、

- (8) K、Q、K、K、T及びTからなるアミノ酸配列、
 - (9) R、T、R、N、R及びSからなるアミノ酸配列、
 - (10) T、Q、K、G、R及びKからなるアミノ酸配列、
 - (11) K、G、A、K、K及びVからなるアミノ酸配列、
 - (12) K、K、T、S、K及びGからなるアミノ酸配列、
 - (13) K、T、R、M、R及びGからなるアミノ酸配列、
 - (14) L、K、D、K、K及びKからなるアミノ酸配列、
 - (15) R、G、Y、K、K及びGからなるアミノ酸配列、
 - (16) R、K、G、N、K及びAからなるアミノ酸配列、
 - (17) R、V、G、R、K及びGからなるアミノ酸配列
- (b) (a)に記載のアミノ酸配列において1又は数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列。

【請求項2】

以下の(c)、(d)又は(e)のアミノ酸配列を有するペプチドからなり、かつ金属への結合能を有する、請求項1に記載の結合剤：

- (c)配列番号1～17の何れかに記載のアミノ酸配列；
- (d)(c)に記載のアミノ酸配列の逆配列；
- (e)(c)又は(d)に記載のアミノ酸配列において1又は数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列。

【請求項3】

K、R、G、V、T、A、Q、S、Y、N、M、L、D又はEから選ばれるアミノ酸からなる、請求項1又は2に記載の結合剤。

【請求項4】

蛋白質に請求項1～3の何れか1項に記載の結合剤を連結した、金属結合性蛋白質。

【請求項5】

蛋白質のN末端及び/又はC末端に結合剤を連結した、請求項4記載の金属結合性蛋白質。

【請求項6】

蛋白質が抗体又は酵素である、請求項4又は5記載の金属結合性蛋白質。

【請求項7】

蛋白質が酸化還元酵素である、請求項4～6の何れか1項に記載の金属結合性蛋白質。

【請求項8】

請求項4～7の何れか1項に記載の金属結合性蛋白質を含む、測定試薬組成物。

【請求項9】

請求項4～7の何れか1項に記載の金属結合性蛋白質を使用する、試料中の測定対象物の測定方法。

【請求項10】

測定対象物がグルコースである、請求項9記載の測定方法。